

ひろば・ちがさき

No.910

市民会議・市民自治市議団

2010年12月17日 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 市役所内 0467-82-1111

中嶋 てるお	86-5543
須田 ゆずる	86-8788
岸 正明	87-8766
小磯 妙子	52-6731
和田 清	67-5980

☆一中通り等、通学路の安全性向上を！

12月1日の定例市議会で、**和田清議員**が一般質問を行いました。

**通学路安全確保のために
抜本的解決策を！**

一中生が通学途上にトラックに撥ねられて死亡する悲惨な交通事故が起きて、早3年が経ちました。一中通りの安全対策は向上したのでしょうか？ 歩行者と車両の分離は行なわれていません。抜本的な対策を訴えました。

市長は、「各学校より要望された危険箇所を持ちより、交通安全対策会議での検討を重ねるとともに、客観的な政策目標を定める道路整備プログラムを作成した。」と答弁しました。その結果、一中通りの道路整備は先送りされます。**安全対策を優先し、早期解決を図って欲しい**、それまでの間、**通学時間帯だけでも、雄三通りも含めた一方通行を実施する**とか、**車両の速度抑制を要望**しました。

市役所建替えは、機能の再検討や納得できる十分な市民説明を！

現本庁舎を全て壊し、西側に総合的な本庁舎を72億円で建設する計画が進んでいます。厳しい財政状況の中で、しっかり検討する必要があると思います。子育てに関して関係部署が集まる「子どもセンター」や、福祉保健医療関係が一ヶ所で済むセンター、消防本部と一体化した防災センターなどの機能的な分庁舎化を検討し、現在の本庁舎を耐震補強で済ませる案などを検討すると共に、市民への十分な説明が必要と訴えました。市長は、「十分な検討と説明を約束する」答弁を行いましたが、他の議員の質問には、「現庁舎取壊し、総合庁舎新築の方針に変わりがない」とも答弁しています。築35年の建物が、耐震強度の問題を契機に、建替えるしかないというのは、なかなか納得できるものではないと思います。追求していきます。

無駄をなくす行政運営で、重点課題の早期解決を！

保育園の待機児童対策や、障がい児の短期入所などの政策実現の目処が立っていない中で、必要な政策を実現するために、「優先度の低い政策に関しては縮小や廃止を行ない、費用負担をお願いできるところはお願いしていく必要があるのでは？」と訴えました。

特に、民生関係経費は、より財源の必要性が高まる中、「生きがいや余暇に関する支援は、緊急課題が解消するまで、待ってもらおう。」「支払い能力のある方々には、必要な経費は負担してもらおう。」などの対策を取るように要望しました。

市長は「前向きに検討する」との答弁でした。民生関係経費は、縮小や廃止に反発が多い事業です。しかし、命や暮らしを守るために英断を期待したいと思いません。来年度の予算に注目です。